

赤潮・貧酸素情報（５）

平成２７年５月１８日

各漁業協同組合長 殿

福岡県水産海洋技術センター
豊前海研究所長

５月１８日に豊前海区沿岸から沖合にかけて有害プランクトン調査を行った結果、有害プランクトンのカレニア・ミキモトイの増殖が調査した全地点で確認されています。

< 有害プランクトンの状況 >

- 柄杓田いかだ付近でカレニア・ミキモトイの増殖（底層で海水 1ml 中に 44 細胞）が認められています。このほか、調査した全地点の全層で 5～34 細胞/ml の密度で確認されています。
- カレニア・ミキモトイは、数～数千細胞で魚介類に被害を及ぼします。
- 本種は、増殖初期は中層（主に 5 m 層前後）で増殖する性質を持っていますので、海面からの観察では海水の着色が判別しにくい種類です。
- 本種は、昨年同時期に発生しており、コウイカ等への悪影響が懸念されております。
- なお、貧酸素の発生は確認されておられません。

< 今後の状況 >

- 今後、晴天が続いた場合、赤潮や貧酸素が発生する恐れがあります。
- ４月から引き続き本種の増殖が確認されています。魚介類への影響を回避するために、漁獲後、早めの出荷をお願いします。
- 研究所では引き続き調査を実施しますので、今後の情報に十分ご注意ください。

※漁業被害、海面の着色などがみられましたら、豊前海研究所（097 9-82-2151、担当：俵積田、野副）までご連絡下さい。

5/18調査結果

番号	採水場所	採水層 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	カニア・ミキトイ (細胞数/海水1ml)
①	柄杓田いかだ	0	19.1	31.91	34
		5	19.0	31.96	25
		B-1	18.9	32.29	44
②	人工島	0	19.4	31.88	30
		5	19.2	31.97	28
		B-1	19.2	31.99	9
③	菱島いかだ	0	20.1	31.47	8
		5	19.4	31.91	7
		B-1	19.1	31.92	10
④	稲童沖	0	19.4	31.69	10
		5	18.7	31.98	9
		B-1	18.6	31.98	7
⑤	宇島いかだ	0	20.5	31.57	5
		5	20.1	31.59	8
		B-1	18.9	31.88	10
⑥	シーバース	0	18.3	32.12	26
		5	18.3	32.11	15
		B-1	13.4	32.82	32

